

2010年は
安保改定50年

米軍基地と日米安保の是非を問う大論議を



これでいいの？

在日米軍基地の異常

ことは日米安保条約が改定されてから50年の節目の年になります。この半世紀で、軍事同盟をめぐる世

界の情勢はどう変化したのか、そのなかで日米軍事同盟はどういう特徴をもっているのか検証します。

全国と神奈川の米軍基地は海外への「侵略力」拠点

日米同盟は4つの軍事同盟の中でも他に類をみない異常な特質があります

①北大西洋条約機構(NATO) ②日米、③米韓、④米豪。

1

基地の面積は2倍にも

在日米軍基地は、1980年代以降に、面積では2倍以上に広がっています。(自衛隊との共用を含む)

2

「殴りこみ」部隊の拠点

海兵遠征軍、空母打撃軍、航空宇宙遠征部隊など、日本の防衛とは無関係の部隊が配備されています。

3

殺人、暴行、ひき逃げ

米兵・軍属による事件・事故・犯罪・住民生活への被害は深刻。神奈川でも殺人、タクシードライバー強盗事件が発生。

日本防衛とは無関係
この異常、世界で日本だけ

4

義務のない「思いやり予算」

米軍駐留経費負担として、毎年2800億円の税金を大盤振る舞いする「気前良さ」では日本は「世界一」。

5

国民をだましつづける「日米密約」

50年前に安保条約を「対等なもの、日本の自主性を確保するものに改める」として宣伝された「事前協議」制度は、実態のない国民だましの「虚構」なのです。

6

日米同盟は侵略的に変質

日米軍事同盟は、「米軍再編」の名で、日米安保条約の枠組みをこえた、地球規模の「日米同盟」への侵略的変質を深めています。

7

経済も米国いいなり

日本経済は米国の支配のもとにおかれ、「新自由主義」のおしつけ、金融の自由化、郵政民営化などは、米国の要求から始まったのです。



世界は軍事同盟から 抜け出す流れ

世界は、この半世紀に、大きくは軍事同盟から抜け出しています。外部に仮想敵をもたない、開かれた地域の平和共同体がアジア、EU、中南米など、世界各地にひろがっています。

解体・機能停止

- 米国中心の軍事同盟**
 - 東南アジア条約機構 (SEATO=米国中心にアジア・太平洋地域7カ国)
 - 中央条約機構 (CENTO=米、英国などと中東5カ国)
 - アンザス条約 (ANZUS=米国、豪州、ニュージーランド3カ国)
 - 米州相互援助条約 (リオ条約=米国中心に中南米19カ国)
- 旧ソ連中心の軍事同盟**
 - ワルシャワ条約機構 (WTO=ソ連と東欧7カ国)
 - 中ソ友好同盟相互援助条約 (ソ連、中国)

米軍基地はなくせませす

日米安保条約第10条では、どちらか一方の国が条約の廃棄通告をしたときは、1年以内に米軍基地を撤去しなければならないことを合意したものです。

ご存知ですか

政府間合意を変えた海外の事例

- ◆南米エクアドル**
マンタ基地撤去を公約に掲げた大統領の当選後、同基地から米軍が撤退し公約を実現。(2009年)
- ◆ニュージーランド**
総選挙で勝利した労働党が、公約に基づき核兵器搭載の艦船と航空機の寄港、着陸を禁止、非核政策の恒常化をはかる非核法を成立させる。(1989年)
- ◆フィリピン**
国民的なたたかいで米国のスービック海軍基地とクラーク空軍基地から米軍を撤退させる。(1992年)
- ◆スペイン**
国民投票で決め、トレホン空軍基地から米軍部隊が撤退。(1992年)

基地のない日本、神奈川へがんばります

新時代、あなたとつくりまします



元参議院議員

はたの君枝

参議院神奈川選挙区

核事故の不安、爆音被害、米兵犯罪の恐怖…。米軍基地は県民を苦しめる元凶で、おおもとに日米安保条約があります。私は、安保をなくし、基地のない平和な日本と神奈川をつくるために、国政の場で力いっぱい働きます。

参議院比例代表選挙

日本共産党は5議席をめざしています

日本共産党は5人(現職3人、新人2人)の予定候補をたててがんばります。



元国会議員秘書
田村智子(新)

東京都、神奈川県、千葉県、山梨県が活動地域です。

比例代表選挙は「日本共産党」と書かれた票がすべて議席に結びつきます
参議院比例代表は衆議院と異なり、「全国が一つの選挙区」です。

2010年1月号外 日本共産党の見解を紹介します。

革新のひろば 発行 日本共産党神奈川県委員会
住所 横浜市神奈川区西神奈川1-18-12
電話 045-432-2101 FAX 045-432-2103

はたの君枝ホームページ <http://www.hatano-kimie.jp/>

建設的野党 日本共産党